

弟とわたし

瑞穂市立穂積小学校 三年 田宮 都

わたしと、わたしの弟は、夜ねる時、くっついてねるくらい仲良しです。そして、パズルが大好きなおっとりした弟です。来年は一年生になるから、一しよの学校へ行けるのだとわたしは、楽しみにしていました。でも、お母さんにそれを話すとお母さんは、

「ゆきは、一しよの小学校じゃなくて、とくべつしえん学校という学校に行くんだよ。」

と、言いました。お友だちの兄弟や姉妹は同じ小学校へ行っているのに、なぜ、わたしの弟は一しよに通えないのか、ふしぎでした。

弟はみんなとちがう所があるそうです。薬をのまないと、けいれんという発作がおきてしまうびょう気があることです。発作がおきると、お母さんは大あわてになるので、大丈夫かな？とドキドキします。とてもつらそうな顔になるからです。そのせいで頭がともつかれて、せい長がともおそくなってしまうのです。6才になった今でも、言葉話をすることができないし、色々あぶない事が分からないから、目はなせないのです。

でも、大へんな事ばかりではありません。せんたく物の整とんを手伝ってくれたり、自分で着がえをしたり、わたしと一しよで、わらったり走ったり。やってほしい事は、手を引っぱって教えてくれるし、名前をよべば来てくれます。弟の好きな歌を歌うと、手をたたいてえがおになるので、わたしはその時が一番しあわせなしゅん間です。

いつも、「タチアオイ」という、ようち園へ通っています。えがおで行くので、楽しみなんだというのがひしひしつたわります。ごはんの時にはおどっていてノリノリで、口のまわりがごはんだらけになっていることもあり、わたしは、面白いなと思います。おじさんのひげのように見えるからです。

この様に、みんなを楽しませ、和ませてくれる弟は、まわりの子とくらべて、出来る事は少ないし、おそいかもしれない。けれど、お父さんもお母さんもわたしも弟ができるようになる事がふえるととてもおどろき、よろこびます。たとえちがう学校に行くのだとしても、弟は弟に合った学校で楽しく勉強できると良いなあと、おうえんする気持ちが強くなりました。

これからも、弟のせい長していくすがたを見守りたいです。そして、いままで通りなかよくくっついてねたいです。